

新潟県

上越市立春日小学校

児童数：724名 学級数：29学級

★特徴的な取り組み

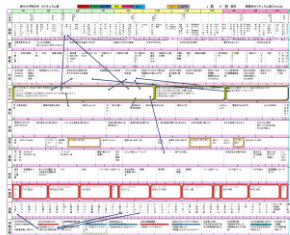
中学校区の合同学校運営協議会において、未来に期待する地域の姿やこれからの社会に求められる資質・能力について熟議をした。そこで挙げた意見をもとに、学校の教育目標を地域と共有できるものに変更した。

年間2回行うカリキュラム検討会議には、学校運営協議会委員や地域コーディネーター等が参加し、各学年の生活科や総合的な学習の時間の活動を検討する。

第1回

教育目標と地域資源の活用を柱に熟議を実施。

学年ごとに全ての教科等の単元配列一覧表「**視覚的カリキュラム表**」を生活科や総合的な学習の時間を中心に作成し、単元間のつながりを教科横断的に見通しながら、活動を再検討した。



第2回

検討会議では、実施状況を踏まえて、問題点や課題を教員や学校運営協議会委員等と共有し、熟議をしながら2学期以降の教育課程の改善を図った。



▶視覚的カリキュラム表（上）と活発な熟議の様子が見える総合的な学習の年間活動計画（下）

★成果

学校運営協議会委員等が教育課程の構想に関わることで、新たな発想やアイデアが生まれ、前年度踏襲ではなく、目の前の子どもたちの状況に合った取り組みをしようという意欲が教員の間で高まった。

新潟県

妙高市立斐太北小学校

児童数：70名 学級数：8学級

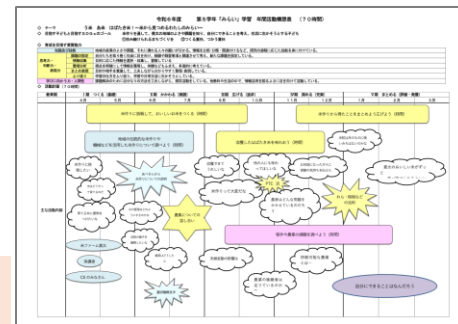
★特徴的な取り組み

年間の教育課程を検討し、改善し、振り返りを行う「みらいトーク」を年3回実施。教職員に加え、学校運営協議会委員や地域コーディネーター等が低学年、中学年、高学年ごとに分かれ、生活科や総合的な学習の時間を中心とした教育課程について熟議をした。

○みらいトークの様子

年度末の振り返りの「みらいトーク」(第3回)では、教育課程の評価や翌年に向けた改善事項が話し合われるとともに、学校運営協議会委員が教員の活動を勇気づけたり、子どもたちの成長を分かち合い喜んだりする姿が見られた。

さらに、学校行事等の教育活動を保護者や地域住民に知らせるポスター形式のカレンダーに加えて、地域の歴史や文化を学ぶ副読本を学校運営協議会が作成し、児童全員に配布をした。



▶ みらいトークで検討する
総合的な学習の時間の年間活動
構想表

★成果

学校運営協議会委員の参画のもと教育課程を編成、実施、評価・改善することで、斐太北小学校の特色あるESD教育が実現できている。教員だけでは成し得ない充実した体験活動など、質の高い教育活動が展開できている。

◎学校運営協議会の主な役割の一つに「校長が作成する教育課程の編成などの学校運営の基本方針を承認すること」がある。今後、学校や地域で一層個性や特徴を出しやすくなる柔軟な教育課程こそ、熟議され、説明責任を果たすプロセスとして実質的な承認がなされることが求められる。

◎併せて、上記事例のように教育課程の編成・実施プロセスに保護者や地域住民等が参画する工夫がなされることで、熟議や承認のプロセスが当事者意識の高い豊かなものになり、柔軟な教育課程への理解や実施における協力を得やすくするなる。そのために、これからの社会に求められる教育に関する保護者・地域住民等のより一層の理解や学びが必要となり、それを可能とする分かりやすい教育課程の仕組み（次期学習指導要領）とすることも大切である。